

北海道ユースプランナーミーティングでの意見に対するフィードバック

1 ユースプランナーの活動について

【登録者を増やすために】	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ユースプランナーの活動自体の認知度が低い。 ・どういった活動をしているのかということと、活動頻度がそんなに高くなく、負担にならないことをアピールすると良い。 ・大学の構内にポスターや活動内容を掲示すれば、もっと目につくと思う。 ・ポスターの掲示だけでなく、直接道の職員から話を聞いた方が、登録する人はいると思う。
【道担当者からの回答】	
<p>いただいたご意見を反映し、より多くの学生の皆さんにユースプランナーの活動を知っていただくため、各学校への周知の際に、学校構内へのポスターの掲示の協力をお願いしますこととしました。</p> <p>また、直接学生の皆さんに直接説明する機会を設ける場合には、学生の皆さんの負担にならないというお声を頂いているということも、お伝えしてまいります。</p>	
【積極的に活動するプランナーを増やすために】	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のお知らせは目にするが、その結果・報告が目につきにくい。登録していても、自分たちが何をして、自分たちの活動がどのように反映されているのかが、わかりにくい。 ・SNS などもっと目に触れやすいところに、写真レポートや実際に行った人の声、大学生の感想みたいなものがあれば、見てみたいと思う。 ・ユースプランナー同士の横の繋がり、仲間意識が薄いですが、仲間の声などを見ることができれば、もう少し積極的にユースプランナーの情報を得られるようになると思う。 ・報告書という形だけでなく、もう少しゆるい形がいい。「道がやっている事業だから、とっつきにくい」というのを壊したい。
【道担当者からの回答】	
<p>活動の結果報告や反映の状況について、皆さんの目に触れやすいものになるよう、子ども政策局の SNS の活用など、検討させていただきます。</p>	
【ユースプランナーにどういった形で連絡をするのが伝わりやすいか】	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 等を使うのがユースプランナー世代は認知しやすい。 ・LINE のオープンチャットなどの機能でやり取りすると、自分の名前を変えられるので、匿名性、個人情報も担保できるし、登録者数やアクティブに活動している人の様子がわかると思う。 ・LINE だとプライベートな連絡に埋もれてしまうので、公私を分けるといった意味でも、Slack や Google チャットだとオフィシャルな感じもして、運用も比較的楽だと思う。匿名性という点では、難しい面もある。
【道担当者からの回答】	
<p>現時点では、道の情報システム等の都合上、本制度に各ツールを導入することは難しいと考えておりますが、引き続き、皆さんの目につきやすく、見ていただきやすくなるよう、方法等について検討させていただきます。</p>	

【ユースプランナーに関する情報の発信について】	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ユースプランナーの声を SNS で発信して、それをユースプランナーが共有・拡散することでさらに広がっていく可能性もある。 ・ユースプランナー用の新しいアカウントを作ってもいいと思う。子ども政策局のアカウントは、婚活などの情報が多く、大学生が食いつくような投稿ではないものも多いので、他の大学生に共有しにくい部分がある。
	<p>【道担当者からの回答】</p> <p>いただいたご意見を参考に、ユースプランナー制度の取組について、子ども政策局の SNS に掲載をしていきたいと考えております。</p> <p>また、ユースプランナー用のアカウントの作成についても、検討させていただきます。</p>
【活動のインセンティブについて】	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所に見学に行き、他のユースプランナーと話す機会があったのが、いい経験だったと感じている。他のユースプランナーと対面で話す機会がもっとあれば、横の繋がりもメリットと言えらると思う。 ・施設見学や訪問など、行政がやっているからこそ経験できるイベントが多いといいと思う。
	<p>【道担当者からの回答】</p> <p>今後も、皆さんに活動のインセンティブと感じていただけるような道の関係施設への見学や、ユースプランナー同士の交流が図られる機会などを設けたいと考えております。</p>
【活動の時期について】	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・地方に住んでいると、授業期間中はイベントなどには参加しにくいので、施設見学などのイベントは春休みや夏休みに集中的にあると、参加できる人も増えると思う。 ・可能であればレポート期間とかテスト期間を避けて欲しい。
	<p>【道担当者からの回答】</p> <p>今後の事業実施に当たっては、ユースプランナーの皆さんの予定をお伺いしながら、イベントや意見・アイデア募集等の日程を検討したいと考えております。</p>
【その他】	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ユースプランナーの中でも経済に興味がある人、医療に興味がある人など、区分を分けると、もっとよりたくさんの方の大学生世代の人たちが参加しても、自分の興味のあることについてだけ考えられるので、意見も出しやすいと思う。
	<p>【道担当者からの回答】</p> <p>現時点では、関心のある分野ごとにユースプランナーを分けるという予定はありませんが、今後はこども施策のみならず、幅広い分野について皆さんからご意見を伺いたいと考えております。</p>

2 北海道の子ども施策について

(1) こども・若者の意見反映について

【幅広い世代が関心を持てるテーマ】	
1	<p>・給食についてであれば、小学校と中学校でみんな食べているし、給食で出てくる食べ物の中に、道産のものがあるので考えやすいと思う。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>いただいたご意見を参考に、テーマを選定する際には、多くの子どもが経験していたり、身近に感じやすいことなど、興味・関心を持って意見を出していただきやすいことを重視したいと考えております。</p>
【参加したユースプランナーの関心のあるテーマ】	
2	<p>・教育移住から考える地方の地域活性化のような社会教育分野に関心がある。</p> <p>・ヤングケアラーに関心がある。学業との両立が難しい等の課題にどうサポートしていくかというところが関心のある分野。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>いただいたご意見を参考に、幅広い世代が興味を持ち、意見を出しやすいテーマを選定したいと考えております。</p>
【意見聴取の方法について】	
3	<p>・スマホ等を使ってフォームで回答するのと並行して、紙に書いて出せるようにした方が子どもにとっては意見を出しやすいと思う。スマホを持ってない子どももいるし、学校以外の自分の落ち着いた空間、家とかで意見を考えたりできないと、質の良い意見がもらえないと思う。</p> <p>・「こども新聞」の作成など、イベントと掛け合わせながら、お題を出して「これについて君たちはどう考える?」「考えて新聞を作ってみよう」というような形で実施すると、ただ「意見をください」とチラシを配布するよりも、食いつきがいいと思う。夏休みや冬休みの前に周知すれば、学校側も勧めやすい。「夏休みの宿題や自由研究をこれにしてもいいよ」と学校側も子どもたちにプッシュしやすい、いいきっかけになるのではないかな。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>来年度の事業実施時に、紙での回答を可能にするかについては、検討中ですが、いただいたご意見のとおり、リラックスした環境で意見を出せることが非常に重要と考えております。このため、対面で意見を聞く際には、リラックスして意見を言える雰囲気づくりを行っていきたいと思います。</p> <p>「意見を聞く」という取組だけでなく、「こども新聞づくり」など、別の取組と合わせた形で実施するという貴重なアイデアをいただきありがとうございます。今後の取組を検討するに当たり参考とさせていただきたいと思っております。</p>

(2) 北海道の子ども施策全般について

【参加したユースプランナーの関心のある子ども施策に関するテーマ】	
4	<ul style="list-style-type: none">・子どもの医療費について関心がある。住んだ場所によって医療費や掛かるお金が変わってきてしまうというのは、どうなんだろうと感じている。・ヤングケアラーに関心がある。また、ヤングケアラーに付随して一緒に考えていかなければいけないのがひとり親家庭の問題や子どもの貧困の問題だと考えている。これらは家庭だけでどうにかできる問題ではないので、北海道や各市町村がバックアップ・支援していかなければならない。そうした支援が少子化の歯止めになったりするのではないかと感じている。・障がい児の教育、障がいのない子どもと障がいのある子どもたちが一緒に同じ学び舎で同じ教室で勉強するインクルーシブ教育に関心がある。今後ユースプランナーの活動の中で、話題として出てきたら嬉しい。・託児施設ではなくて、他の親御さんの家、一般の住宅の親御さんに預けるというサービスに関心がある。保育園も混んでいると聞くので、必要なときだけ預けられる施設を一般住宅にするともっと簡単に増やせるだろうし、面白いと思っている。
	<p>【道担当者からの回答】</p> <p>いただいたご意見を参考に、幅広い世代が興味を持ち、意見を出しやすいテーマを選定したいと考えております。</p>